

2016 年度役員候補者一覧

■ 会長		
任期 2 年（改選 任期 2018 年 3 月まで） * 新任		
岩田 洋夫	筑波大学	1957 年東京生まれ。1981 年 東京大学工学部機械工学科卒業，1986 年 東京大学大学院工学系研究科修了(工学博士)，同年筑波大学構造 工学系助手。現在筑波大学システム情報工学系教授。バーチャルリアリティ，特にハプティックインタフェース，ロコモーションインタフェース，没入 ディスプレイの研究に従事。SIGGRAPH の Emerging Technologies に 1994 年より14年間続けて入選。東京テクノフォーラム・ゴールドメダル賞(1998 年)，文化庁メディア芸術祭優秀賞(2002 年)、文部科学大臣表彰 科学技術賞 (2011 年)などを受賞。2013 年より，筑波大学グローバル教育院 エンパワーメント情報学プログラムリーダー。1996 年～2007 年 本学会理事。2010 年～2013 年 本学会副会長。【新任】
■ 副会長		
任期 1 年（非改選 任期 2017 年 3 月まで）		
石橋 聡	NTT アイティ	1982 年徳島大学大学院工学研究科修士課程了。同年日本電信電話公社(現 NTT)に入社，以来，画像処理，画像符号化および画像通信システムの研究開発に従事。1988 年より 3 年間，国際電気通信基礎技術研究所(ATR)にて，臨場感通信システムの研究に従事。現在NTTアイティ取締役。工学博士。IEEE，電子情報通信学会，映像情報メディア学会，画像電子学会会員。1992 年映像情報メディア学会鈴木記念賞受賞。著書に，「デジタル・ビジュアル通信技術」(電気通信協会)，「デジタル情報表現の基礎—音声・画像の符号表現」(サイエンス社)などがある。2007 年～2010 年本学会理事。【2015 年度：副会長】
任期 2 年（改選 任期 2018 年 3 月まで） * 再任		
竹村 治雄	大阪大学	1982 年大阪大学基礎工学部情報工学科卒業，1987 年同大学大学院博士課程単位取得退学。(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)研究員，主任研究員を経て，1994 年 4 月奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授。2001 年 4 月大阪大学サイバーメディアセンター教授。2002 年同大学情報科学研究科教授(兼任)。2005 年 8 月同大サイバーメディアセンター副センター長(兼任)，2007 年 8 月同センター長(兼任)，2011 年 8 月同副センター長(2013 年 8 月まで兼任)，2012 年 4 月全学教育推進機構企画開発部長(兼任)および同教育学習支援部門長(2013 年 5 月まで兼任)，2013 年 6 月教育学習支援センター長(兼任)現在に至る。工学博士。主として 3 次元ユーザインタフェース，複合現実感，HCI の教育・研究に従事。日本バーチャルリアリティ学会評議員およびフェロー，ヒューマンインタフェース学会，情報処理学会，電子情報通信学会，IEEE，ACM 各会員。【2015 年度：副会長】【再任】
■ 理事		
任期 1 年（非改選 任期 2017 年 3 月まで）		
池井 寧	首都大学東京	1959 年東京都出身。1988 年東京大学大学院工学系研究科産業機械工学専攻博士課程修了(工学博士)1992 年東京都立科学技術大学講師，現在首都大学東京大学院教授。専門はシステム工学，ヒューマンインタフェース，バーチャルリアリティ，ウェアラブル/ユビキタス五感情報インタフェースなど。近年は特に触覚情報提示，記憶支援，超臨場感の研究などに従事。Wearable/Ubiquitous VR 研究委員会委員長，拡張認知インタフェース調査研究委員会委員長。【2015 年度：理事】
岩館 祐一	NHK アイテック	1981 年，同志社大学工学部電子工学科卒業。同年，NHK(日本放送協会)入局。旭川放送局を経て，1985 年から放送技術研究所にてハイビジョン方式，デジタル伝送方式，3 次元映像処理などの研究に従事。1998 年から 2000 年まで，(株)ATR 知能映像通信研究所研究室長，感性情報処理の研究に従事。現在，(株)NHK アイテック主幹。2002 年～2015 年、電気通信大学大学院客員准教授，客員教授。2010 年度高柳記念奨励賞、2011 年映像情報メディア学会論文賞、2012 年第27回テレコムシステム技術賞奨励賞ほか受賞。博士

		(工学).【2015年度:理事】
神部 勝之	ソリッドレイ研究所	(株)ソリッドレイ研究所 代表取締役. 1953年神奈川県生まれ. 1978年上智大学理工学部数学科卒業. 1978年カルコン日本支社入社. 図形処理の基礎を学習. 1983年(株)図研入社. 3次元CADプロジェクトに従事する. 1987年(株)ソリッドレイ研究所を仲間5人と設立. 代表取締役に就任. VRシステムの開発・販売を主業務とする. 【2015年度:理事】
蔵田 武志	産業技術総合研究所	1996年筑波大学大学院工学研究科修士課程修了. 同年, 工業技術院電子技術総合研究所入所. 2001年から独立行政法人産業技術総合研究所研究員. 現在, 同研究所人間情報研究部門サービス観測・モデル化研究グループ長. 2003-2005年JSPS海外特別研究員(ワシントン大HITLAB客員研究員)を兼務. 2009年から筑波大学大学院教授(連携大学院)を兼務. サービス工学におけるVR/AR/MR技術の展開を進めており, 現在は, 拡張サービス・プロセス・リエンジニアリングの研究に従事. 本学会では, 論文誌委員, VR技術者認定制度委員を担当. また, SIG-MR幹事, TrakMark WG委員としても活動. 2012年からは, ISO IEC/JCT1/SC24委員(主にWG9におけるAR及びARトラッキングの標準化に従事). IEEE/ACM ISMAR Area Chair (2009, 2011)及びAward Committee Member (2010), IAPR ICPR2012 Local Arrangement Chair, KJMR2013 General Chairなどを担当. 博士(工学)【2015年度:理事】
野嶋 琢也	電気通信大学	1998年東京大学工学部計数工学科卒業. 2003年同大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程修了. 博士(工学). 2003年航空宇宙技術研究所研究員, 組織改編により現在の宇宙航空研究開発機構研究員を経て, 2008年より電気通信大学大学院情報システム学研究科准教授. 現在に至る. 2008年よりVR学会企画委員, 2014年より同論文委員. 触覚インタフェース, オープメントドスポーツ, エンタテインメント等の研究に従事. 【2015年度:理事】
広田 光一	電気通信大学	1994年東京大学大学院工学系研究科産業機械工学専攻博士課程修了. 博士(工学). 1993年日本学術振興会特別研究員(東京大学人工物工学研究センター), 1995年豊橋技術科学大学情報工学系助手, 2000年東京大学先端科学技術研究センター助教授, 2005年東京大学大学院新領域創成科学研究科助教授, 2012年東京大学大学院情報学環准教授, 2015年電気通信大学大学院情報システム学研究科教授. 現在に至る. おもにVR環境における操作と触力覚の提示に関する研究に従事.【2015年度:理事】
南澤 孝太	慶應大学	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 准教授. 2005年東京大学工学部計数工学科卒業. 2010年東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程修了, 博士(情報理工学). 同年慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特別研究助教, 特任講師を経て, 2013年9月より現職. リアリティメディア研究機構 理事, 超人スポーツ委員会 幹事. 触覚インタフェースを中心に, 3Dインタラクション, 身体性メディアの研究を行う.【2015年度:理事】
矢野 博明	筑波大学	1992年筑波大学第三学群基礎工学類卒業, 1997年同大学院工学研究科構造工学専攻修了. 博士(工学). 1997-1999年日本学術振興会特別研究員(PD), 1999年より筑波大学講師機能工学系, 同大システム情報工学研究科助教授を経て, 現在は, 同大学大学院システム情報系准教授. 1998-2007年日本VR学会学会誌編集委員, 2010年より同論文委員, 専門はハプティックインタフェース, ロコモーションインタフェース等の研究に従事. 【2015年度:理事】
吉田 ひさよ	P.I.C.S.	株式会社P.I.C.S. (ピクス) マーケティング・ディレクター. 1993年米国・オハイオ州立大学大学院留学. 学際研究所Advanced Computing Center for the Arts & Design (ACCAD)に属し, 認知工学, 人間工学, CG, VR等を学びながら研究助手として3DCG用インハウスソフトウェアのGUI設計・デザインに従事. 帰国後は日本ヒューレット・パッカード社, クリスティ・デジタル・システムズ日本支社でマーケティングやプリセールス等の業務を担当し, 2015年10月より現職. プロジェクションマ

		ッピングブームを日本市場に仕掛けるなど、映像関連のビジネス企画立ち上げを得意とする。1998年～2003年多摩美術大学グラフィックデザイン学科非常勤講師。日本映像学会会員。海外のメディアアーティスト、CGデザイナー&アニメーター、プロジェクトマッピングディレクター等の講演通訳の経験多数。【2015年度:理事】
任期2年（改選 任期2018年3月まで）*再任		
安藤 英由樹	大阪大学	1974年生まれ。1999年愛知工業大学大学院工学研究科修士課程電気電子工学専攻修了、2000年理化学研究所ジュニア・リサーチ・アソシエイト、2001年科学技術振興事業団「協調と制御」領域前田研究室研究員、2003年株式会社エーアイ技術員、2004年東京大学情報理工学系研究科論文博士(情報理工学)取得。2004年NTTコミュニケーション科学基礎研究所研究員(RA・RS)を経て、2008年大阪大学大学院情報科学研究科バイオ情報工学専攻准教授。人間情報工学を専門とし、錯覚を用いた非言語的インタフェースなどを研究するかたわら、専門領域を題材とした作品制作にも意欲的に取り組む。2008年文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞、Prix Ars Electronica 2009ならびに2011 Interactive Art部門でHonorary Mention受賞。【2015年度:理事】【再任】
串山 久美子	首都大学東京	1982年武蔵野美術大学建築学科卒業、1984年筑波大学大学院芸術研究科修了、メディア制作を業務とする株式会社グロースを起業、1992年より武蔵野美術大学、早稲田大学、千葉大学非常勤講師、2005年JST さきがけ研究員デジタルメディア表現領域、東京農工大学客員教授を経て2006年より首都大学東京システムデザイン研究科教授に就任。国際対抗VRコンテスト(IVRC)審査委員、ICAT委員、情報処理学会DCON編集委員、インタラクティブ委員、映像学会論文委員。専門はインタラクティブアート&デザイン、バーチャルリアリティ、触覚ディスプレイの開発と研究。1981年よりメディアアート作品発表、2000年よりSIGGRAPH Art Gallery, Emerging Technology やArs Electronicaなどに数多く出展。【2015年度:理事】【再任】
篠田 裕之	東京大学	1965年神奈川県生まれ。1988年東京大学工学部物理工学科卒。1990年同大学院計数工学修士、同年より同大学助手、1995年博士(工学)。同年東京農工大学講師、1997年同助教授、1999年UC Berkeley 客員研究員を経て2001年東京大学情報理工学系研究科助教授、2012年同教授、現在東京大学新領域創成科学研究科教授。触覚インタフェース、バーチャルリアリティ、触覚センサ・ディスプレイ、センサネットワーク、二次元通信、光・音響・生体計測などの教育と研究に従事。2008年～2009年 計測自動制御学会理事、2013年～2015年IEEE World Haptics Conference Associate Editor-in-Chief、計測自動制御学会フェロー。【2015年度:理事】【再任】
鈴木 陽一	東北大学	会津若松生れ。1976年東北大学工学部電気工学科卒業。81年同工学研究科電気及通信工学専攻博士課程修了(工博)。竹中育英会、RCA David Sarnoff 奨学生。東北大学大型計算機センター助教授等を経て、99年から電気通信研究所教授。音空間知覚など聴覚情報処理とマルチモーダル感覚情報処理、3次元聴覚ディスプレイ等の研究に従事。科研費特別推進研究「マルチモーダル感覚情報の時空間統合」代表(07～11年)。日本音響学会会長(05～07年)。現在、日本VR学会理事、日本音響学会理事・学術委員長、日本学術会議連携会員、総務省情報通信審議会委員、超臨場感通信フォーラム(URCF)会長。日本VR学会フェロー、アメリカ音響学会フェロー、電子情報通信学会フェロー。主な受賞に日本音響学会佐藤論文賞(92, 94年)、FIT 船井ベストペーパー賞(05, 13年)、日本VR学会論文賞(11年)、志田林三郎賞(14年)、著書に聴覚モデル(コロナ社)、音響学入門(コロナ社)、初めて学ぶGKS(共立出版)など。【2015年度:理事】【再任】
任期2年（改選 任期2018年3月まで）*新任		
上岡 玲子	九州大学	九州大学芸術工学研究院 准教授。1997年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了。NTTヒューマンインタフェース研究所、米国衛星通信会社PanAmSatに勤務。2003年東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程修了。(博士(工学))東京大学インテリジェントモデリングラボラトリー、先端科学技術研究センター特任助教、産

		業技術総合研究所サービス工学研究センター産総研特別研究員を経て2012年4月より現職。ヒューマンインタフェース、バーチャルリアリティの研究に従事。近年は、e-テキスタイルによるウェアラブルインタフェース、クロスモーダルな感覚提示によるエモーショナルエンジニアリングなどの研究を行う。本学会では、日本VR学会学会誌編集委員(2012-2014年)(VRメディア評論、特集号「VRと美容」を担当)。VRと超臨場感研究委員会幹事を務める。【新任】
北村 喜文	東北大学	1987年大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程修了。キヤノン株式会社、ATR通信システム研究所、大阪大学大学院工学研究科/情報科学研究科を経て、2010年から東北大学電気通信研究所教授。博士(工学)。本学会1998~2008年学会誌編集委員、2003~2008年編集幹事、2003~2008年、2012~2015年評議員、2008~2011年理事、1999年第4回大会幹事、1998年~2001年VRにおける計測技術研究委員会委員長。2009年より3次元ユーザインタフェース研究委員会委員長、フェロー。2006年貢献賞、2007年論文賞を受賞。国際会議JVRC、ICAT、EGVE、IEEE 3DUI、ACM VRST、ACE、ITS、SIGGRAPH AsiaなどでProgram Chair、Symposium/Conference Chair、Steering Committeeなどを務めてきている。IFIP TC-13 日本代表、ACM SIGCHI Conference Management Committee、Asian Development Committeeなどの委員。【新任】
谷川 智洋	東京大学	1997年東京大学工学部産業機械工学科卒業。1999年同大学大学院工学系研究科機械情報工学専攻修士課程修了。2002年同大学博士課程修了。同年通信・放送機構研究員。2004年組織変更により情報通信研究機構研究員。2005年東京大学先端科学技術研究センター講師。2006年同大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻講師、2015年同准教授、現在に至る。イメージ・ベースト・レンダリング、複合現実感に関する研究に従事。多数の展示やスマートフォンアプリを公開するなどデジタルミュージアムやライブログなどの積極的な社会展開も行っている。2006~人工現実感研究会(日本VR学会、ヒューマンインタフェース学会、信学会MVE、映像情報メディア学会HI研究会)幹事、2008~香り・味と生体情報研究委員会幹事、2014~同副委員長、2002~2006年ニューズレター委員会委員、2006~論文誌委員会委員、2011~2015年同幹事。【新任】
藤田 欣也	東京農工大学	1983年慶應義塾大学工学部電気工学科卒業。1988年同大学院理工学研究科博士課程修了(工学博士)。相模工業大学、東北大学医学部、岩手大学を経て、現在東京農工大学大学院工学研究院先端情報科学部門教授。1996~1997年アルバータ大学神経科学部門客員研究員。人の知覚特性を利用した力触覚提示と作業支援、オフィス作業者の割り込み許容度推定などの研究に従事。2004~2008年論文委員。2009~2011年力触覚の提示と計算研究委員会委員長。2010~2013年本学会理事。【新任】
■ 監事		
任期1年(非改選 任期2017年3月まで)		
伊福部 達	東京大学	1971年北海道大学大学院修士課程(電子工学)修了。1984年米国スタンフォード大学・客員助教授、1989年北大・応用電気研究所(現:電子科学研究所)・教授、2002年東京大学先端科学技術研究センター・教授。北大名誉教授、東大名誉教授。2011年より高齢社会総合研究機構・特任研究員。工学博士。電子情報通信学会フェロー、VR学会フェロー、中山賞大賞「工学技術の医療福祉への応用」(2012)、音の匠顕彰「緊急地震速報チャイム音の作成」(日本オーディオ協会、2012)、北海道新聞文化賞(2014) 主な著書に「音の福祉工学」(コロナ社、1997)、「福祉工学の挑戦」(中公新書、2004)、「ゴジラ音楽と緊急地震速報」(監修、ヤマハミュージックメディア、2012)、「福祉工学への招待」(ミネルヴァ書房、2014)、「福祉工学の基礎」(コロナ社、2016)。(2012-2013年度 本学会会長)【2015年度: 監事】
任期2年(改選 任期2018年3月まで) *再任		

<p>廣瀬 通孝</p>	<p>東京大学</p>	<p>1954年鎌倉生まれ。1977年東京大学工学部産業機械工学科卒，1982年東京大学大学院博士課程修了，工学博士。同大学工学部専任講師，1983年同助教授，1999年東京大学先端科学技術研究センター教授を経て，2006年東京大学大学院情報理工学系研究科教授。専門は，システム工学，ヒューマン・インタフェース，バーチャル・リアリティ。通信・放送機構 MVL/SVR プロジェクト プロジェクトリーダー，産業技術総合研究所特別顧問，情報通信研究機構 プログラムコーディネータなどを務める。日本学術会議連携会員，日本VR学会フェロー。情報化月間推進会議議長表彰，東京テクノフォーラム・ゴールドメダル賞，大川出版賞などを受賞。主な著書「バーチャル・リアリティ」(著)産業図書(平成5年)，「空間型コンピュータ」(著)岩波書店(平成14年)，「ヒトと機械のあいだ」(著)岩波書店(平成19年)。(2010-2011年度 本学会会長)【2015年度:監事】</p>
--------------	-------------	--